

いざ！災害に備える



6月～10月は、大雨や台風の接近・上陸により、河川の氾濫や土砂崩れなど風水害が起こりやすい時期です。昨年7月は、九州地方を中心とした記録的な大雨で、市でも土砂災害や河川の氾濫など大きな被害をもたらしました。

今後このような災害に対応していくため、最新の気象情報や避難情報に注意を払い、ハザードマップを確認するなど、梅雨や台風の季節を迎える今こそ、風水害に備えましょう。

①ハザードマップ・防災マップで危険箇所を確認

市のハザードマップが新しくなりました

台風や大雨による水害、土砂災害または地震などの災害時に避難する場所や注意すべき箇所・情報をまとめています。

今回から、台風や低気圧の接近に伴う高潮が発生した場合に浸水が想定される区域を示した高潮ハザードマップも追加しています。

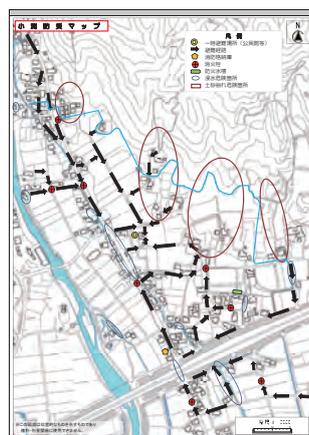


「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅周辺の災害リスクととるべき行動を確認しましょう

ハザードマップは4月に全戸配布しました。随時、防災危機管理課でも配布しています。

地区の防災マップ

地域住民と消防団などが主体となり、地区ごとに防災マップを作成しています。市のハザードマップに記載がない身近な危険箇所や避難経路の確認に役立ちます。(市内全地区で作成済み)



②命を守るための備えを万全に！

非常持ち出し品を準備しましょう！

食料品・飲料水などは最低でも3日間
できれば1週間分の備蓄品を準備しておきましょう

非常時持ち出し品 チェックリスト

- | | |
|---|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 食料品
(乾パン、缶詰、ビスケット、チョコレートなど) | <input type="checkbox"/> 手袋 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災頭巾 |
| <input type="checkbox"/> お薬・救急用品 | <input type="checkbox"/> 衣類・下着 |
| <input type="checkbox"/> スマートフォン、ラジオ | <input type="checkbox"/> メガネ、入れ歯 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯、予備の乾電池 | <input type="checkbox"/> 携帯充電器 |
| <input type="checkbox"/> マッチ、ライター | <input type="checkbox"/> 健康保険証、免許証 |
| <input type="checkbox"/> 貴重品 | <input type="checkbox"/> 個人で必要なもの |
- など



+こんなものがあると便利！

- | | |
|---|--|
| <p>新聞紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手袋として使う ●簡易トイレを作る ●掃除道具に使う | <p>ビニール袋</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調理に使う
(米を炊く、煮る) ●手袋として使う |
| <p>ラップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食器に被せて食事をする ●防寒対策 | <p>ペットボトル</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ランタンを作る ●食器代わりにする |

普段からテレビやインターネットなどで情報収集をしましょう！



「雨がどれだけ降ったら危険なの？」
「避難時は何に注意すればいいの？」

いざという時に慌てずに対応できるよう、防災に役立つ知識を蓄えておきましょう。市ではホームページや防災メールで、防災情報をお知らせしています。

▼神崎市防災WEB

神崎市防災メール



お問い合わせ 防災危機管理課 防災係 ☎37-0104

③命を守る行動をとろう

警戒レベルに応じた避難情報と取るべき行動

気象情報や避難情報などの防災情報を5段階の警戒レベルで提供しています。
自分のいる場所が危険だと感じたら早めに避難しましょう。特に高齢者や小さなお子さんがいる家庭は、早めの避難を心がけてください。

警戒レベル	発表発令区分	発表・発令される状況	取るべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保	災害発生または切迫した状況(必ず発令される情報ではない)	<ul style="list-style-type: none"> ■命の危険 直ちに安全確保! ・すでに安全な避難ができず命が危険な状態です。命を守る最善の行動を取ってください。
警戒レベル4	避難指示	災害発生のおそれが高い	<ul style="list-style-type: none"> ■危険な場所から全員避難 ・危険な場所から全員避難しましょう。
警戒レベル3	高齢者等避難	災害発生のおそれあり	<ul style="list-style-type: none"> ■危険な場所から高齢者等は避難 ・避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、危険な場所から避難しましょう。 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をするタイミングです。
警戒レベル2	—	気象状況悪化	<ul style="list-style-type: none"> ■自らの避難行動を確認 ・避難経路や避難のタイミング等を再確認しましょう。
警戒レベル1	—	今後気象状況悪化の恐れ	<ul style="list-style-type: none"> ■災害への心構えを高める ・防災気象情報等の最新情報に注意しましょう。

自宅での避難をする場合

浸水の危険がある場合でも、以下の3つの条件を満たせば、自宅で安全が確保できます。

- ①家屋倒壊等氾濫想定区域※に入っていない
 - ②ハザードマップの浸水深※より居室が高い
 - ③水が引くまで我慢でき、食料品や飲料水などの備えが十分
- ▲土砂災害の危険がある場合は、土砂災害警戒区域※の外側へ避難する必要があります。
※家屋倒壊等氾濫想定区域、浸水深、土砂災害警戒区域はハザードマップでご確認ください。



④防災出前講座を活用しましょう

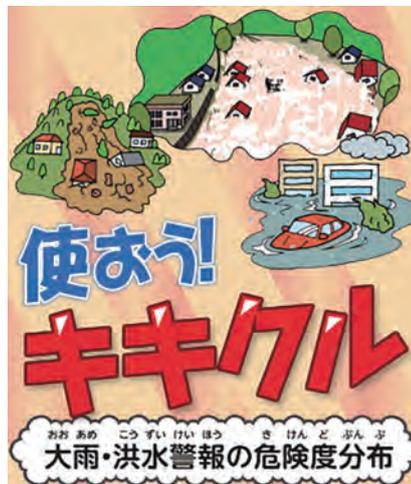
市では、災害に強いまちづくりを目指し、自分の身は自分で守る「自助」、地域コミュニティによる「共助」の重要性を学ぶ、防災出前講座などの取り組みを行っています。



佐賀地方気象台

～ホームページ キキクルのご案内～

キキクル(危険度分布)は、大雨による災害から、あなたやご家族の大切な命を守るための情報を配信しています。



▲キキクル ▲特設ページ





5/9 ガバメントクラウドファンディング贈呈式 西九州大生「菱」研究・商品開発へ

西九州大学では、これまで市の特産品である菱を使った商品開発に取り組んできました。

今回、同大学生達が菱の収穫量が減少した原因を探り、栽培や新たな商品開発に取り組むための研究開発資金として、市のふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングを行った結果、約230万円の資金が集まり贈呈式を行いました。

学生らは「若い人たちにも菱を知ってもらえるような食べやすいお菓子などの商品開発をしたい」と話し、1年を通して菱の栽培に取り組みながら、認知度向上のためのイベント出店などを行います。



5/15 SAGA2024 国スポ・全障スポを盛り上げ そよかぜ荘利用者ら ちぎり絵寄贈

脊振町高齢者生活福祉センター「そよかぜ荘」の利用者の皆さんから今秋開催のSAGA2024 国スポ・全障スポのちぎり絵を寄贈いただきました。

ちぎり絵は、同施設の利用者約20人が2カ月をかけて制作し、市内開催競技である剣道・ハンドボールを中心に全17競技のピクトグラムが描かれています。

作品は、市役所1階ホールに展示しており、大会期間中は神埼中央公園体育館で展示します。ぜひご覧ください。



5/18 第21回次郎の家スケッチ大会 好天の下 下村湖人の生家描く

下村湖人生家で、第21回次郎の家スケッチ大会が開催されました。天候にも恵まれたこの日は、小学生から大人まで約30人が参加しました。

このスケッチ大会は、毎年5月に開催されており「次郎物語」の著者として知られる小説家・社会教育家の下村湖人が生まれ育った「次郎の家」をモチーフにスケッチするものです。

描かれた作品のうち、入賞作品は10月に下村湖人生家で展示される予定です。



5/19 26 神埼市ソフトボール大会 チームプレーで爽やかな汗流す

第19回神埼市ソフトボール大会が市内各グラウンドで行われ、20地区が参加しました。

初夏の日差しの下、選手は爽やかな汗を流しながら、はつらつとしたプレーで交流を深めました。



●Aパート
優勝 本堀
準優勝 平ヶ里



●Bパート
優勝 岩田
準優勝 崎村

5/28 平さんのハウスでいちご狩り 真っ赤で大粒な実^{ひでのり}に園児歓声

平英典さん（神埼町竹原）のビニールハウスで、仁比山保育園の園児たちが「いちご狩り」を体験しました。

園児たちは、平さんからいちごの摘み方を教えてもらい、たくさんの大粒で真っ赤ないちごに目をキラキラと輝かせながら、次々にカゴに入れていました。

ハウス内には「これ、大き〜い」「真っ赤でおいしそう」と嬉しそうなお声が聞こえ、素敵な思い出になりました。



6/14/17 市議会一般質問を傍聴 西郷・千代田東部小6年生熱心に

14日には西郷小6年生 29人が議場を訪れ、一般質問を傍聴しました。これは社会科の授業の一環で行われたもので、一般質問が始まると児童は静かに耳を傾け、熱心にメモをとっていました。

傍聴した岩松遼^{はる}さんは「想像していたものと違い、ルールを守って話し合いが進んでいくことに感心した」と、また、内田壮亮^{そうすけ}さんは「内容は難しかったが、短くまとめられていて分かりやすかった」と感想を話しました。



6/16 神崎市子どもまつり 演奏や手作り体験 親子で盛り上がる

第24回神崎市子どもまつりが中央公民館一帯で開かれ、多数の親子連れが和気あいあいとした雰囲気の中、工作やゲームなどを楽しみました。

今回は30を超える多彩なプログラムがあり、好き嫌いをしないことをアピールする食育ヒーロー「ヤマシロン」によるショーや、アフリカのリズムに合わせた太鼓の演奏体験で親子が一体となって大いに盛り上がりました。

この日は父の日ということもあり、父親への感謝を伝えるうちわ作りも人気を集めました。

